

企業名： グンゼ

レポート名： 統合レポート2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

グンゼの創業の精神は「人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐるすべての関係者との共存共栄をはかる」ことである。また、「VISION2030」という中期経営計画では、お客様に「ここちよい商品、ここちよいサービス」を提供し「社会とともに持続発展する企業」を目指すサステナブル経営を目指している。よってグンゼの目指している将来の姿は、「商品やサービスの供給を通じてお客さん、社会との共存共栄をはかる」ことであると考える。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

グンゼの現在の競争優位性は主に2つあると考える。1つ目は、環境に配慮した経営を行っている点である。具体的には、CO2の排出量を2024年度には2013年度比において28%以上削減を目標としており、長期的に行われている取り組みであると分かるため他企業よりも環境に配慮した活動を続けてきたといえる。よってサステナビリティを意識した経営が出来ていると考える。2つ目は、広い領域で事業を行っている点である。大きく分けて、機能ソリューション事業、アパレル事業、ライフクリエイティブ事業の3つの事業を行っている。吸収性組織補強材の国内シェアは90%、樹木取り扱い本数は業界トップクラスとなっており、たとえ1つの領域で失敗したとしても安全な経営が遅れる点は競争優位性であると考えられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上述の2つの競争優位性のうち、事業を行っている範囲が広いという点は持続性が高いと考える。現在の社会において1つの事業のみを行う場合不安定となる可能性があり、この3つの異なる事業によって安定が可能である。また、他企業がいきなり事業を増やした多角的経営が出来るとは考えにくいいため、持続性があるといえる。

環境に配慮しているという点は今ほどの競争優位性は失われるのではないかと思う。現在多くの企業がSDGsなどの価値を理解し始めており、取り組みを開始しているため、以前よりは優位性が失われると考える。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

グンゼは創業の精神に「人間尊重」という言葉があるように人を大切にする企業であるとうかがえる。女性比率向上のための取り組みを行っていることで、男性比率が高い企業が

考えられないような幅広い意見交換が可能となり、多角的に物事が考えられるようになると思う。また、AI やデジタルツールを積極的に活用しており、これからさらに加速するであろうデジタル社会についていけるようなスキルの習得が見込めると思う。加えて、キャリア形成支援という制度が整っているためキャリアアップも可能であり、人的資本の価値向上は可能であると考えます。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

報告書の良かった点は、多くの参考資料がグラフを使っていたり、様々な色を使用していたりしたため、視覚的に非常にわかりやすくなっていた点である。改善点は、事業内容が何なのか最初分からなかったため、まず最初に事業内容を説明することによってその後の内容がより分かりやすくなると思った。